

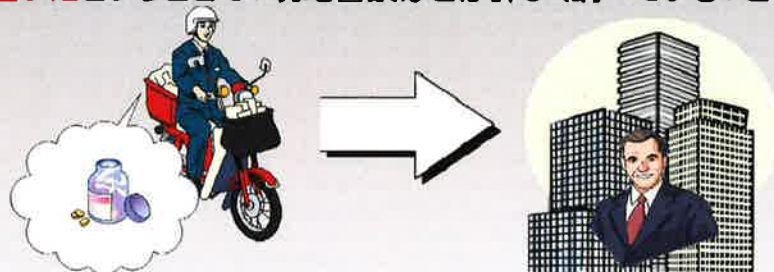
テロ対策兵庫パートナーシップ通信

【NO. 15】

平成30年10月4日
兵庫県警察本部

【米国大統領等宛ての郵便物から不審物件を検出！！】

- 10月3日、米国メデアは、10月1日（現地時間）、**トランプ米国大統領及び国防総省幹部宛ての郵便物から不審な物質が検出**されたと報じた。
- 国防総省宛の郵便物から検出された物質については、**猛毒のリシン**であると報道された。（10月4日には、リシンではなく、リシンが抽出可能なトウゴマの種子であると発表された。）
- また10月2日（現地時間）には、**テキサス州の共和党上院議員の選挙事務所に、白い粉末が入った封筒が届いた**ということで、現地警察などが詳しく調べている、との報道がなされている。

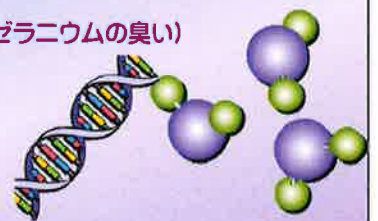


※ **リシン**とは…トウゴマ（ヒマ）の種子から抽出されるタンパク質。**猛毒**であり、人体における推定の最低致死量は体重1kgあたり0.03mg。吸入後4～8時間後に発熱、咳、息苦しさ、吐き気、関節痛等が出現、18～24時間後に食道の壊死及び肺浮腫を引き起こすことがある。36～72時間後には重症の呼吸困難となり、低酸素血症を引き起こし死亡することもある。

現在、リシンに対して実用化されている解毒剤は存在しない。（※公的機関のホームページ等から引用）

【テロに使用されるおそれのある代表的な有毒化学剤の種類・性状について】

- **神経剤** タブン、サリン、ソマン、VXガス、ノビチョク剤等（無臭）
 - ・瞳孔の収縮により視力が喪失 ・激しい発汗、嘔吐、震え
 - ・けいれん、ひきつけ、昏睡等による呼吸停止
- **びらん剤** マスタードガス、レイサイト等（マスタードはニンニク・辛子臭、レイサイトはゼラニウムの臭い）
 - ・目が充血、痛みを起こし涙が出る ・皮膚が発赤、水泡やびらんを生じる
 - ・けいれん、ひきつけ、昏睡等による呼吸停止
- **窒息剤** ホスゲン、ジホスゲン等（ホスゲンはトウモロコシ臭）
 - ・咳が出て胸部の圧迫を感じる ・吐き気、嘔吐、頭痛
 - ・呼吸困難を起こしショック状態になる
- **血液剤** シアン化水素（青酸）、塩化シアン、アルシン等（青酸はアーモンド臭）
 - ・目や鼻、喉に刺激性の痛みを感じる ・頭痛、めまい、吐き気
 - ・胸部に圧迫感、呼吸困難、けいれんを起こす



（※公的機関のホームページ等から引用）

各施設管理者の方へのお願い

- **不審物件を発見したときは…**
 - ※ 不用意に不審物件に近づかない、触らない、未開封の物は開封しない！
 - ※ 事案の大小に関わらず、警察に通報・情報提供を！
 - ※ 施設利用者と一緒にした警戒強化！
 - ※ 施設職員に対する対応要領の周知を徹底！



テロを許さない社会の実現／官民連携のテロ対応

作成：兵庫県警察本部警備部警備課